

Le Ali



■事務局からのお知らせ

2010年6月の総会において、会長の変更と事務局移転が決まりました。

新しい会長は、小林満(京都産業大学教授)です。事務局移転先: 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 8-18-4F

☎03-5428-5630 FAX.03-3463-4901 E-mail: office@iken.gr.jp ホームページ <http://www.iken.gr.jp>

■会長あいさつ

今の日本が未来への展望を失ってしまっているかに見える、その原因のひとつは、第二次世界大戦の壊滅的敗北からの立ち直りのため、高度成長に邁進した結果、それ以前の日本の伝統的価値観をしっかりと継承できなかったことにあるのではないだろうか。

伝統工芸における職人技に代表される緻密で端正な「わざ」は、まさに私たち固有の誇るべき文化である。日本のテクノロジーの進歩もこの文化があつてはじめてありえたであろう。しかし、この伝統はこの島国に住む人びとにしっかりと継承されているだろうか。

イタリアも日本以上に大きな文化的伝統を有し、さまざまな干渉を外から受けながらもその伝統を維持している半島国である。私たちがイタリアに魅了されるのは、多くはその有形無形の文化的遺産に、であることは間違いない。しかし、気づいてほしいのは、日本も素晴らしい文化的遺産を誇る国であることだ。だが、その文化的遺産をどのように継承していったらいいのか、それが問題なのだ。イタリアはその方策を考えるための、1つの大きな手本になってくれるのではないだろうか。

また、日本が「単一性」を志向しがちであるのに対して、イタリアは「多様性」を体現したような存在である点にも注目したい。日本をもイタリアをも襲っている今のグローバル化の大波の中で、いずれ文化的多様性は大きな価値を発揮することになると思う。

イタリアを学ぶことは、過去から未来へと向かっていく日本の姿を見通す眼を持つことにつながり、私たちが「多様性」を手にするチャンスを提供してくれるのである。

本協会はこれまで検定試験の実施をとおしてイタリア語の普及に努めてきたが、今後も検定試験を活動の中心に置きつつも、日本とイタリアの人的交流が直接的にできる可能性をさらに広げていくよう、具体的な活動計画を打ち出していきたいと考えている。

皆さん、いっしょに頑張っていきましょう。応援をお願いします。

小林 満

検定ニュース

◇2010年秋第31回検定試験結果報告 (2010.11.05現在)

	1級	2級	3級	4級	5級	計
札幌	0	5/5	11/14	9/11	7/8	32/38
仙台	2/2	5/5	12/12	9/10	6/6	34/35
東京	46/48	183/198	214/246	171/205	126/154	740/851
横浜	4/4	26/28	53/62	45/55	29/34	157/183
名古屋	5/5	28/29	32/32	32/34	32/35	129/135
金沢	1/2	3/3	1/1	2/2	8/9	15/17
京都	5/5	35/42	50/54	37/45	20/21	147/167
大阪	13/13	59/61	64/75	67/79	61/73	264/301
岡山	0	4/5	9/11	10/11	6/7	29/34
広島	1/1	3/4	5/5	2/4	3/6	14/20
福岡	0/1	5/5	18/19	19/24	21/23	63/72
那覇	0	0	0	2/2	1/1	3/3
ミラノ	17/18	21/22	17/20	6/6	3/3	64/69
ローマ	3/3	6/7	5/6	2/2	0	16/18
計	97/102	383/414	491/557	413/490	323/380	1707/1943
合格率	9.3%	13.3%	25.5%	35.8%	59.4%	30.8%

* 表の数字は受験者数/志願者数、1,2級は一次のみの結果

◇第31回から1,2級のリスニングテストの始めと終わりの説明が、イタリア語になりました。

-Buongiorno a tutti. Ha inizio la Prova di abilità linguistica del Primo livello / Secondo livello. Sessione autunnale 2010. Comprensione auditiva. Ogni problema sarà ripetuto due volte.

-La prova di Comprensione auditiva è terminata. Potete passare alla Parte scritta. Buon lavoro.

◇ウェブ受付スタート!

お待たせしました!

第32回からは検定協会のHPからお申込みいただけるようになります。(受付期間は他と同じです。)

⇒ <http://www.iken.gr.jp>

◇検定要項リニューアル!

第32回から検定要項の表紙デザインに検定合格者の作品を採用しました。今回は1級取得のデザイナー、武田明子さんです。



◇第31回より金沢会場が加わりました。

◇第31回の1,2級二次合格率、設問別正答率は、解説と共に7月に出版予定の検定問題集に掲載されます。(丸善販売)

■第31回検定でのアンケートから

- ①リスニングテストは、テープでなく、CDで。⇒東京と横浜会場は、プレーヤー持ち込みのためまだしばらくはカセットテープになります。カセットプレーヤーはまだ十分性能がよいものでもあり、また台数も多く必要なので、プレーヤーの買い替えが必要な時期になればCDにいたします。
- ②準備のための参考書がない。⇒過去問題集が毎年初夏に発売されています。詳しい解説がついており、参考書としては一番適切です。過去3年分は書店に注文できます。要項に注文表もついています。それより古いバックナンバーは協会にお問い合わせください。また、2級・3級の準備には、イタリアの新聞雑誌が有効です。ウェブからも

見ることができます。(参考サイト: LA REPUBBLICA, CORRIERE DELLA SERA, IL FATTO QUOTIDIANO等)
リスニングは、イタリアで出版されている語学学習教材を勉強されるとよいでしょう。

- ③イタリアシエナ大学のCILSとイタリア語検定の二次試験の日程がダブらないようにしてほしい。⇒できる限り調整努力しています。ちなみに今年はイタリア語検定の二次は12/5ですが、CILSは12/12です。
通訳案内士国家試験の二次との関連もありますが、こちらは受験時間が短いので受験時間を調整することも可能ですので、早めに検定協会にご相談ください。

■作文の模範解答例について

結果通知発送時に正解を同封いたしますが、1~3級の作文は、受験者の中からすぐれたものを1点ずつ選び、ご本人の了解の上、正しいイタリア語に校正して模範解答として掲載しています。

■お詫び

第31回の会場について、いくつか不備がありましたことを、深くお詫びいたします。

札幌会場で受験票に階数の間違えがありました。福岡会場では教室の手配に手違いがあり、3人掛けになった教室がありました。本当に申し訳ございませんでした。

今後このような事態をおこすことのないよう対応いたします。

■忘れ物

大阪会場で「濃いめのサーモンピンクのストール」を忘れた方、協会事務局でお預かりしていますので、ご連絡ください。(03-5428-5630)

■合格体験記

全く新しい環境に飛び込んでみようと、語学学校で、イタリア語を学び始め4年になります。

初めの頃は、聞き慣れない単語ばかりで、正直気後れすることもしばしばありました。しかし、ネイティブな先生達が「まず慣れる」ということを重視して授業を熱心に進めてくださり、先生が消極的な生徒に声を掛けて発言する機会を作りやすくしてくれたり、少人数で常に皆が参加するという形がよかったのだと思います。

何事にも飽きっぽい私が、一年目で検定試験4級、続いて3級、今では2級合格を目指すほどの実力をつけることができたのも周りの仲間や先生たちがいたからだと思います。

勿論、やる気一本で一人バリバリとできるほど語学は単純ではなく、行き詰ることもあります。そんな時は、検定問題や文法などの角度から仲間と勉強すると、実力アップにもつながりますし、最も重要でやるべき事がわかってきました。

こうやって学ぶことは、私にとって大きな収穫でしたし、実力がつくことによって今の自分への自信にも繋がっています。

これからも楽しく学んでいきたいですね。

溝渕由香さん



◆第32回(2011年春季) 実用イタリア語検定◆

実施日: 2011年3月6日(日) 3・4・5級
申込受付期間: 2011年1月6日(木) ~1月31日(月)

◆第33回(2011年秋季) 実用イタリア語検定◆

実施日: 2011年10月2日(日) 1~5級全級実施
申込受付期間: 2011年7月20日(水) ~8月22日(月)

■受験者の方へのお願い

マークシートはHBの鉛筆で。2Bなどの濃すぎるものや、ボールペンだと機械での採点が正確にできないことがあります。

また、マークシートの記入は記入例を見て正しく塗りつぶしてください。特に0と1、隣り合った数字の塗り間違いにご注意ください。



NPO 活動の予告

NPOである本協会のもうひとつの目的である、日本とイタリアのことばにおける市民文化交流の活動として、勉強されたイタリア語を生かせるボランティア、求人、イタリア人旅行者や留学生のホームステイ等々の情報を発信すべく準備中です。皆様からの情報やアイデアもお寄せください。お待ちしております!

2011年より、ホームページから皆様のお声の受け付けを開始します。